

損害保険会社の平成20年度決算について ～経常損益、最終損益ともに、7年ぶりの赤字へ転落～

調査研究部 松吉 夏之介

本稿では、損害保険協会加盟26社の平成20年度決算について、同協会発表資料に基づき概観する。

平成20年度の損保各社業績は、世界的な金融危機の影響を色濃く反映したかたちとなった。利息および配当金収入の減少、有価証券評価損の増大が著しく、経常損益は2,579億円の赤字に転落、最終損益についても809億円の当期純損失となった。経常損益、最終損益ともに赤字へ転落するのは平成13年度以来、7年ぶりとなる。

1. 正味収入保険料は2年連続の減収

保険本業の売上高を示す正味収入保険料は、前年度比3,082億円(4.1%)減の7兆1,618億円で、2年連続の減収となった。

その主因は、自動車損害賠償責任(自賠責)保険料率の大幅引き下げであり、自賠責保険料収入のみで前年度比2,418億円減(21.5%減)となっている。また、正味収入保険料の半数を占める主力の自動車保険も振るわず、前年度比461億円減(1.3%減)の3兆4,565億円となった。自動車の販売低迷に加え、小型車化傾向、事故頻度低下に伴う無事故割引の進行等、保険料単価の下落が影響している。

景気悪化に伴って輸出入が減少したことにより、海上・運送保険も前年度比238億円の減収(8.0%減)となった。

正味収入保険料の減収が響き、損害率は前年度比3.8%ポイント上昇の66.6%、事業費率は1.9%ポイント上昇の35.1%となった。

表1 平成20年度 種目別正味収入保険料

(単位: 億円、%; △印はマイナス)

種目	金額	構成比	増減額	増減率
自動車	34,565	48.3	△ 461	△ 1.3
火災	10,652	14.9	98	0.9
海上・運送	2,756	3.9	△ 238	△ 8.0
傷害	6,472	9.0	△ 121	△ 1.8
自賠責	8,832	12.3	△ 2,418	△ 21.5
その他	8,341	11.6	58	0.7
計	71,618	100.0	△ 3,082	△ 4.1

(注) 日本損害保険協会発表資料から作成

2. 保険引受損益は3年ぶりに黒字転換

保険本業の儲けを示す保険引受損益(※)は、収入保険料の減収、支払保険金や営業費及び一般管理費の増加等があったものの、前年度の638億円の赤字から一転、162億円の黒字に転換した。

これは収入保険料の減収等に伴い責任準備金戻入額が大幅に増加したこと、また、前年度に引き続き、大規模な自然災害の発生が少なかったため支払備金繰入額が減少したことによるものである。

(※) 保険引受損益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支

3. 資産運用損益は前年度比7,000億円超減少

リーマン・ショックを発端とする金融市場の混乱により、有価証券評価損が前年度比4,434億円増(641.0%増)の5,126億円に膨らんだほか、利息及び配当金収入は前年度比

1,474億円減（19.9%減）の5,928億円に減少した。この結果、資産運用損益は、前年度比7,146億円減少して1,954億円の赤字となった。

保険引受損益162億円と資産運用損失1,954億円の合計から、保険引受以外の営業費および一般管理費やその他経常損益を加減した経常損益は、前年度比6,362億円減少（168.2%減）して2,579億円の赤字へ転じた。最終損益（当期純損益）についても、特別損益において、運用資産の価格変動に備えるために積み

立てた価格変動準備金の戻し入れを行ったものの、809億円の赤字となった。

平成20年度末における総資産は、内外金融市況の低迷を受け、前年度比13.7%減の29兆9,411億円（前年度34兆7,091億円）となった。

なお、ソルベンシー・マージン比率は、比率を下げている会社が多いものの、全社とも健全性の目安とされる200%を大幅に超える水準にある。

表2 平成20年度 損害保険会社の損益状況（損保協会加盟26社計）

（単位：億円、%；△印はマイナス）

		平成19年度	平成20年度	増減額	増減率
経常損益	保険引受収益	87,221	86,823	△398	△0.5
	（うち正味収入保険料）	(74,700)	(71,618)	(△3,082)	(△4.1)
	（うち責任準備金戻入額）	(674)	(4,560)	(3,886)	-
	保険引受費用	75,587	73,927	△1,659	△2.2
	（うち正味支払保険金）	(43,366)	(43,994)	(627)	(1.4)
	（うち損害調査費）	(3,582)	(3,689)	(106)	(3.0)
	（うち諸手数料及び集金費）	(12,535)	(12,460)	(△75)	(△0.6)
	（うち支払備金繰入額）	(1,065)	(199)	(△865)	(△81.2)
	資産運用収益	8,367	6,618	△1,749	△20.9
	（うち利息及び配当金収入）	(7,403)	(5,928)	(△1,474)	(△19.9)
	資産運用費用	3,175	8,572	5,397	170.0
	（うち有価証券売却損）	(678)	(1,043)	(364)	(53.7)
	（うち有価証券評価損）	(691)	(5,126)	(4,434)	(641.0)
営業費及び一般管理費	13,067	13,491	423	3.2	
（保険引受に係る営業費及び一般管理費）	(12,228)	(12,684)	(456)	(3.7)	
その他経常損益	23	△29	△53	△225.6	
経常損益	3,783	△2,579	△6,362	△168.2	
（保険引受損益）	(△638)	(162)	(800)	-	
特別損益	△260	1,519	1,779	-	
税引前当期純損益	3,523	△1,059	△4,583	△130.1	
当期純損益	2,368	△809	△3,178	△134.2	
総資産残高	347,091	299,411	△47,680	△13.7	
諸比率	損害率	62.8	66.6		
	事業費率	33.2	35.1		
	運用資産利回り	2.83	2.29		

（注）日本損害保険協会発表資料から作成（単位未満は切り捨て）



(参考) 主要損保 9 社の決算概況

主要損保 9 社の平成20年度決算概要は次のとおり。

- ・正味収入保険料は、全社が減収となった。
- ・経常損益は、全社が前年度対比で減益となったが、東京海上日動と三井住友海上の 2 社は経常黒字を維持した。
- ・最終損益（当期純損益）は、経常黒字の 2 社と日本興亜損保を除く 6 社が赤字となった。
- ・保険引受損益は、5 社が黒字を確保する一方、他の 4 社が赤字となるなどまちまちとなった。
- ・損害率、事業費率ともに全社で悪化している。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、全社で低下したものの、総じて健全な水準を維持している。

表 3 平成20年度 主要損保 9 社の決算概況

(単位：百万円、%；△印はマイナス)

	正味収入 保険料	保険引受損益	経常損益	当期純損益	総資産残高	損害率	事業費率	ソルベンシー マージン比率
東京海上 日動	1,813,412 (△ 5.2)	73,812 (87.5)	69,624 (△ 62.2)	71,104 (△ 42.2)	8,413,488 (△ 22.7)	67.4 (5.8)	34.6 (3.1)	696.8 (△ 261.0)
	135,916 (△ 4.1)	3,231 -	△ 16,179 (△ 717.1)	△ 10,315 (△ 625.7)	443,040 (△ 8.0)	62.6 (1.2)	38.4 (1.3)	737.9 (△ 161.4)
損保 ジャパン	1,290,464 (△ 4.1)	△ 92,274 -	△ 153,884 (△ 309.9)	△ 73,943 (△ 265.5)	4,856,435 (△ 9.9)	70.3 (5.2)	34.5 (1.6)	628.5 (△ 259.4)
三井住友海上	1,239,393 (△ 5.2)	32,477 -	25,532 (△ 53.6)	46,580 (21.4)	5,977,347 (△ 14.2)	69.5 (4.4)	34.0 (2.2)	692.8 (△ 255.8)
あいおい損保	816,693 (△ 4.1)	18,568 (80.5)	△ 20,359 (△ 559.5)	△ 9,550 (△ 233.2)	2,419,760 (△ 8.3)	65.0 (2.8)	34.6 (1.3)	720.8 (△ 141.8)
日本興亜損保	653,400 (△ 5.2)	5,445 -	△ 2,851 (△ 117.0)	10,111 (28.4)	2,671,715 (△ 10.2)	66.7 (1.3)	35.1 (0.2)	711.9 (△ 193.7)
ニッセイ同和損保	310,918 (△ 2.3)	△ 8,758 -	△ 16,841 (△ 234.9)	△ 6,738 (△ 204.5)	1,100,172 (△ 9.4)	67.4 (1.0)	34.6 (1.1)	855.1 (△ 197.0)
富士火災	284,835 (△ 3.1)	△ 857 -	△ 91,650 (△ 742.1)	△ 58,977 (△ 1,064.7)	912,744 (△ 9.0)	62.7 (1.3)	37.9 (1.5)	505.6 (△ 187.0)
共栄火災	159,700 (△ 3.6)	△ 14,337 -	△ 42,923 (△ 2,339.0)	△ 33,733 (△ 6,834.9)	666,727 (△ 4.9)	65.8 (1.0)	40.4 (2.9)	829.3 (△ 119.3)

(注1) 各欄下段の () 表示は、前年度比増減率。損害率、事業費率、ソルベンシー・マージン比率については前年度差

(注2) 三井住友海上は、自動車保険「もどリッチ（満期清算型払戻金特約付契約）」の払戻充当保険料を控除した数値

(注3) 各社発表資料から作成